

わかやまをつくり守っています。

# わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

## 第17回

### 土木のしごと

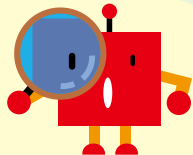
## 「ねている時間にできる空港の滑走路」

飛行機のための専用の道を「滑走路」と言います。白浜空港では、昨年大きな飛行機にも対応できる丈夫な滑走路を作り直しました。ただし工事ができるのは飛行機が飛ばない夜だけです。全体を約40のブロックに区切り、傷んだ部分を取り除いて、頑丈なアスファルトを流しこみながら朝には何もなかったような状態に。長さ2000メートル×幅45メートルの滑走路を3年かけて少しずつ工事しています。



強い素材を使い、今までの倍以上の厚みにする事で、大きな飛行機も安心して着陸できるようになっています！

## こんなこと知ってる!?



### 安全を守る「グルーピング工法」

ぱっと見ではわかりませんが、よく見ると滑走路には細かいみぞがたくさんあるんです。これは、水はけをよくし、スリップ事故を防止するためのもので、白浜空港の滑走路にあるみぞの数はなんと6万本以上！アスファルトに放水しながら専用のダイヤモンドブレードで32ミリおきに深さ6ミリのみぞを作る「グルーピング工法」です。これにより、タイヤと路面の間に水が入ってスリップを起こす「ハイドロプレーニング現象」を防ぎます。



夜の間に集中。朝には元の状態にするため、毎日白線も引き直します。



## この人に聞きました



みんなが通りやすい道の安全。いろいろなものを作っていきます！

でぐち たいぞう まつむら みのる  
出口 泰三さん 松村 実さん  
田辺市立芳養小学校卒 山口県出身

### 空の安全・安心を守るためにがんばっています

土木の仕事は、やってみるとおもしろいことがいっぱいあります。自分関わった現場が形になって見えてくるし、喜んでもらえるとうれしい。今回のようにふだん見られない夜の空港の滑走路に関わることもあります。忘れ物1つ許されない現場で、工事中は本当に大変でしたけど、いい思い出になっています。

## プレゼントコーナー

【生徒のみなさんへ】

担任の先生にお願いして、クラス全員や学年全員の数で申しこんでもらってください。(ご担任の先生、よろしくお願いいたします。)

【先生方へ】

生徒の皆さんに配布していただける場合はクラス全員や学年全員の数で申しこんでくださいますようお願いいたします。



申込方法 「学校名・クラス名(学年名)・冊数・住所」をファックスください。  
Fax.073-436-2567 (一社)和歌山県建設業協会まで。

(一社)和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。



## 安心を、未来への希望に。

新設 保険金区分 最高 7,000万円に増額 (従来5,000万円)

契約者 割戻金制度により 掛金負担が軽減

経営事項審査において 15点の加点になります

法定外労災補償制度 諸費用補償(企業防衛)

## 建設共済保険

公益財団法人 建設業福祉共済団